

News Release

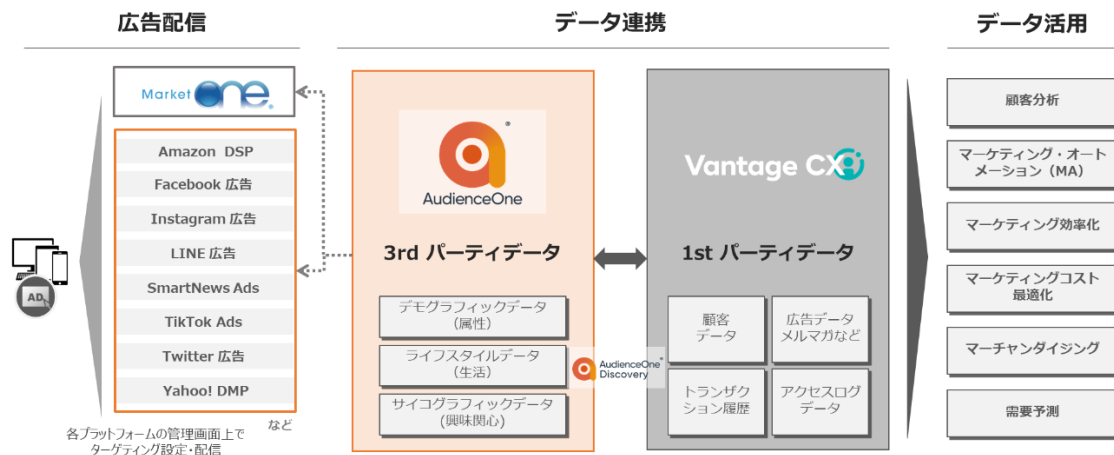
2021年5月19日

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

DACのDMP「AudienceOne[®]」が「Teradata Vantage」と連携

～シームレスなデータ連携により、生活者と最適なコミュニケーションを実現～

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長CEO：島田雅也、以下 DAC）は、自社で開発・提供を行うDMP「AudienceOne[®]」(※1)と、日本テラデータ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋倫二、以下 日本テラデータ）が提供するエンタープライズ・カスタマー・データ・プラットフォーム（CDP）である「Teradata Vantage Customer Experience（以下 Vantage CX）」との連携を開始しました。これにより、「AudienceOne[®]」の3rdパーティータと「Vantage CX」の1stパーティータを組み合わせることで「Vantage CX」内で分析することで、企業は時間をかけず容易に精緻な顧客像を理解できるようになり、生活者と最適なコミュニケーションを行うことが可能となります。



DACの「AudienceOne[®]」は、1億を超えるデバイスのIDなど膨大なデータを保有し、そのデータを解析して高精度な3rdパーティータを生成/提供する国内最大級のデータ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）です。また、日本テラデータの「Vantage CX」はクラウド向けにモダナイズされた統合型のCDPで、顧客関連データを統合・分析し、高度にパーソナライズされたカスタマーエクスペリエンスを、あらゆるチャネルを通じて実行することができます。

今回、DACの「AudienceOne Discovery[®]」(※2)を通じてデータ連携することにより、「AudienceOne[®]」が保有する3rdパーティータと「Vantage CX」に格納されている1stパーティータをシームレスに掛け合わせて活用できます。また、連携したデータを「Vantage CX」内で分析し顧客像の理解が促進されることで、生活者との最適なコミュニケーションが実現できます。

さらに、「Vantage CX」内での分析結果をもとに作成したセグメントで、「MarketOne[®]」(※3)をはじめとした「AudienceOne[®]」と連携済みのさまざまなプラットフォームでの広告配信も可能となります（＝「AudienceOne Connect[®]」(※4)）。また「AudienceOne[®]」の機能を活用すれば、作成したセグメントに類似したユーザーへの拡張配信もでき、より効果的なマーケティング施策につなげることができます。

DACは今後も、さらに多くのプラットフォームやソリューションと「AudienceOne[®]」とを連携させ、企業のマーケティング活動の最適化を支援することで、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進、およびインターネット広告市場の発展に貢献してまいります。

- (※1) 「AudienceOne[®]」は、オンラインデータに限らず、購買履歴や位置情報などのオフラインデータとも連携し、CRM、広告配信結果、パネルリサーチ結果など、さまざまなデータの統合や分析、可視化が可能です。また特許技術による、デバイスやチャンネル間のクロスデバイス推定機能も特長です。これにより、豊富な連携チャネルを活用し、「新規顧客の獲得」から「既存顧客のLTV向上」までフルファンネルで、高度なマーケティング環境を実現します。「AudienceOne[®]」が保有するデータには、性年代・年収などのデモグラフィックデータや、約1,400種類の興味関心データ(サイコグラフィックデータ)、専門領域に特化した「AudienceOne[®]」パートナー企業から提供されたデータ(Data Exchange)などが含まれます。
<https://solutions.dac.co.jp/audienceone>
- (※2) 「AudienceOne Discovery[®]」は、DMP「AudienceOne[®]」が保有するオーディエンスデータをクライアント企業の企業データベース等へ提供するサービスです。興味関心や嗜好性、ライフスタイルなど、企業のニーズに合わせてカスタマイズされた外部のデータを提供し、顧客を詳細に分析および可視化することで、マーケティングコミュニケーションの最適化、高度化を実現します。
<https://solutions.dac.co.jp/audienceone/discovery>
- (※3) 「MarketOne[®]」は、DACの連結子会社である株式会社プラットフォーム・ワンが提供するデマンドサイドプラットフォーム(DSP)です。
<https://marketone.jp/support/>
- (※4) 「AudienceOne Connect[®]」は、「AudienceOne[®]」が保有する膨大な量のオーディエンスデータによって広告配信セグメントを作成し、Web/アプリを問わず、さまざまな広告配信プラットフォームから広告を配信することができるサービスです。
<https://solutions.dac.co.jp/audienceone/connect>

以 上

<日本テラデータについて> <https://www.teradata.jp/>

日本テラデータ株式会社は、企業向けコネクテッド・マルチクラウド・データプラットフォームを提供し、小規模から大規模まであらゆるデータ活用を可能とする米国テラデータの日本法人。顧客がデータを最大の企業資産として活用し、ビジネスを成長させる支援をしています。

Teradata Vantage について

主力製品であるデータウェアハウス・ソフトウェア「Teradata Vantage」は、マルチクラウドで、ビジネスに必要なすべてのデータに透過的にアクセスし、分析できるプラットフォームを実現します。エンタープライズレベルのハイパフォーマンス、高可用性、高拡張性を備え、AIやマシンラーニングをはじめとする最新の高度なアナリティクスを行う各種言語、ツールを活用した大規模なアナリティクスを実現することで、お客様のすべてのビジネス課題に価値ある「答え」をリアルタイムで提供します。詳細は [teradata.jp](https://www.teradata.jp/) をご覧ください。

<会社概要>

■ デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社 <https://www.dac.co.jp/>

DACは、インターネット広告黎明期である1996年の設立以来、情報や生活のデジタル化とともに事業を拡大し、市場形成と業界成長を牽引してまいりました。

現在は、デジタルを軸とした広告・マーケティングビジネスを国内外で展開しています。コンサルティングからプランニング、広告枠の仕入れ・販売、運用、結果解析までのトータル支援、メディアの特性を活かしたクリエイティブ制作、豊富なデータと高度なテクノロジーを掛け合わせたソリューション開発・提供や、グローバルなプロモーション支援などを行っています。

今後もDACは、"**Empowering the digital future デジタルの未来に、もっと力を。**" というミッションのもと、広告やマーケティングの新しい形の創造をリードし、新たな価値を社会へ提供し続けていきます。

代 表 者 : 代表取締役社長CEO 島田 雅也

本社所在地 : 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー

設 立 : 1996年12月

事 業 内 容 : メディアサービス事業、ソリューションサービス事業、オペレーションサービス事業

本件についてのお問い合わせ先

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

戦略統括本部広報担当 E-mail : ir_inf@dac.co.jp